

わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

Tel (0880) 33-0247 Fax (0880) 33-0518

IPフオン 050-3344-8850

ホームページ⇒ <http://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘



あじさい満開

若草園の坂道にいろいろな種類のアジサイが咲きました。

巻頭言



理事長 平岡和好

平素より、多くの皆様に社会福祉法人 栄光会 児童養護施設 若草園の発展のため格別なご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

理事長就任を引き受け早くも4年が経過致しました。この間、国の推進計画として施設の小規模化、地域分散化、高機能化、及び多機能化などが提唱されました。それらの課題に、栄光会なりに積極的に取り組んできたところでございます。これからも、子どもが健康に成長できる施設環境をととのえ、1人ひとりの子どもの個性を理解し、子どもの自己実現が可能な施設運営を目指します。また、若草園が高い公共性と、専門性を有していることを自覚しつつ、健全で公正かつ活力ある職場づくりにつとめてまいります。

若草園にはこのほかにも、法人として取り組まなければならない事業、解決しなければならない課題もございます。地域福祉の向上という目的を共有する若草園施設職員、法人役員が、先人と共に今までに培ってまいりましたノウハウ、経験を活かして若草園発展のために最善をつくしております。一同と共に微力ではございますがわたくしも、この重責を全うしたいと願っておりますので、皆様方の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

社会的養護自立支援事業



児童養護施設などを退所し、自立生活をしている方の無料相談窓口はこちらです。

Tel (090)5912-1785

(通話料はかかります)

9:00 ~ 17:00

(緊急の場合は24時間対応)

担当 岡崎光子





児童養護施設若草園の 運営にかかわる 役員紹介

若草園と社会的養護自立支援事業「あおば」の運営母体である社会福祉法人「栄光会」の役員をご紹介します。なお今年度、児童家庭支援センター「わかくさ」は活動を休止しております。



△▽新型コロナウイルスに負けずに▽△
VS. COVID-19



理事長	常務理事 施設長	理事	理事	理事	理事	監事	監事
平岡 和好	福留 久美	山崎 育代	本田 三津代	宮本 昌博	矢野川 研	山沖 優子	山本 博昭

評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員
黒岩 将	池本 幸子	植木 俊博	山沖 直樹	山沖 美枝子	内藤 達也	西本 久美香

◇苦情解決第三者委員
相談員

相談員	相談員
乾 梢	森田 智枝

相談員

芝 雅人

〇〇 役員顔ぶれ 〇〇

平成29年に社会福祉法が改正され、若草園にも評議員会制度が導入されました。3年間は経過措置により4人で運営しておりましたが、今年度から定員7人となりました。監事、理事も歴任された三好琴喜評議員は昨年度末で退任され、その補充も含めて右側の4人が新たに加入した評議員です。「若草園を支える会」の役員は次号にて紹介いたします。

光るどろ団子づくり
高知県出身の心理学者・加用文男さんのもり込んだ「泥ピカ団子」。子ども達も、よい泥を近くの山に採集に行く所から、つくりあげました。



園芸
園庭に張り出して設置していたウッドデッキが老朽化したので、撤去しました。工事は竹島の松倉建設工業さんがボランティアでして下さいました。広くなった所にプランターを増やして、花をたくさん植えました。

雨上がりの若草園
去年も史上最も遅い梅雨入りでしたが、今年の梅雨も長いようです。



5.22 スズランの贈呈
夕方のNHKニュースでも取り上げられましたが、北海道からスズランが届きました。



5.5 かしわ餅づくり
子ども達とかしわ餅を作りました。いちご大福風のおしゃれな和菓子になりました。

高校生の力作
在宅学習期間に、洗濯場にちょうどの棚が無かったので、ホームセンターで材料を買ってきて、高校生が夏休み前の工作(?)をしてくれました。



6.4 中古ピアノの寄付
高知県庁を通じて、ピアノを寄付くださる方があり、トラックで届きました。ステイホームの折、子ども達のよき娯楽になります。



夏休みにならなかつた。子ども達

ちょうど1年前のこの場所では、平成から令和になって「ゴールデンウィーク」が10連休となったため、夏休みの取り方も変則的になった」とお伝えしていました。ところが、今年も新型コロナウイルス緊急事態宣言の影響により、年度末から年度初めにかけて学校が休校になり、再び例年とは違う様子です。若草園の本園がある下田では、小中学校共に7月31日（金）が終業式です。けれども、下田中学校は8月23日（日）が始業式、下田小学校は8月25日（火）からで、夏休みはそれぞれ22日間と24日間、例年と比べて短くなっています。

3.20 防球ネットの設置
コロナウィルスでステイホーム（在宅）となり、子ども達にもストレスです。幸い若草園は園庭が広いので、元気にボール遊びしても壁やガラスが痛まないように、防護ネットを設置しました。業者さんが施工している間も興味津々で、手伝っているのやら、じゃましているのやら……。



こども高知新聞 **読もっか** 10号

トカゲ大きくそだつて 下田小6年 ゲッコウくん

今日、ぼくはトカゲを見つけました。動きがはやかっただけ、そのトカゲをつかまえました。そして、飼うことにしました。

ぼくはパソコンで、えさやどんな部屋がよいかしらべました。さいしよに、虫かごの3分の1ほにもぐるのがすきだったので、ふかふかの草もしきました。そして、きりふきで土をしめらせ、水おき場を用意すれば完成です。

いざ、そのトカゲをいれると、おとなしく土にもぐって大成功でした。大きくそだってほしいです。ストレスをかけず、そだてていきたいです。

「若草園の子どもの作品が掲載されました」



定期総会のご案内

8/29(土) 15:30



若草園の後援会組織として運営されております
「若草園を支える会」の定期総会が8月29日(土) 曜日) 15時30分から、若草園の地域交流多目的ホールにて開催されます。

2年前から若草園のホームページでも寄付金を募集し始めましたところ、少しずつ応募があります。これからの後援会活動について皆さんと考える時だと思います。今年はコロナウィルスの関係もありますので、積極的な参加はお願いいたしません。御意見・御要望がございましたら、予めお知らせください。



いつもの風景

3月になってすぐに、学校が休みになった。まだ春休みまでには2週間ほどあるのに。お別れ遠足がなくなり、卒業式も、入学式も“ないしょ”のようにやった。

春の日差しに輝く風景は、いつもと変わらないのに、月曜日の朝、学校はひっそりしていた。

全国に緊急事態宣言が出されたからだ。

ゴールデンウィークがおわって、5月8日からは中学校と高校が少しずつ授業をはじめた。11日からは小中学生・高校生も朝から登校するようになった。18日には幼稚園もはじまった。

でも、夏になってもみんなマスクをしている。

みんなの笑顔がいつも見えるようになったらいいのに。



「強い者が生き延びたのではない。変化に適応したものが生き延びたのだ」。適者生存の概念を言い表した言葉として、ある時から用いられるようになった。▼モンゴルの「マンホールチルドレン」のニュースは世界に衝撃を与えた。弱者である子どもが、生き延びる為に環境に適応し、健気に生きる姿には感動させられる。それと同時に、子どもの適応能力だけではどうしようもない疾病問題等が顕在しており、適応能力として手放しでは評価できない。▼コロナ禍にあっても、子どもの姿には逞しさを感じさせられている。▼孤児院の歴史から始まった児童養護施設。若草園でも「まだ戦後」と言われる時代からの歴史が重なっている。令和元年度の決算理事会と評議員会が終結した。▼社会生活が変化するに依りて、施設に求められる事も変化している。適応しなければならぬ事。そして、変わってはならない事もある。聖書には「昨日も、今日も、永遠に変わらない」として愛があげられている。(セ)

編集後記



～ 令和1年度～
苦情解決報告
 (平成31年3月19日
)
 令和2年3月30日)



苦情解決第三者委員会を開催しました。

日時：3月30日(月曜日)

午後7時半～9時半

場所：若草園 管理棟1階 プレイルーム

出席者：委員3名、園長、主任3人(うち1人は前主任)

件数：子どもからの苦情0件、関係者からの苦情0件

若草園では今年度、社会的養護関係施設が3年に1度受けることを義務づけられている「第三者評価」の年であった為、その報告をして、それを元に委員からの質問を受け、今後も子どもの権利を守る為の意見交換を行いました。なお、受審結果は「高知県 第三者評価」で検索するとインターネットで御覧になることができます。

若草園では養育の質を向上させるために、入所児童や地域の方々の声に耳を傾ける取り組みをしております。お気づきの点がございましたら遠慮なくご連絡ください。方法は来園、電話、郵便、ファックス、メールなど、いずれの方法でもかまいません。

苦情解決責任者：福留久美

苦情解決員：森田佳代、瀧澤 勝

相談員の皆さんは③ページにて紹介しています。

